

枚方市教育委員会

教育長 尾川 正洋 様

おいしい給食課長 木村 勝 様

2022年9月14日

枚方教職員組合

執行委員長 有馬 昌代

中学校給食方針についての申し入れ（案）

教育委員会において、中学校給食の今後の在り方について、校長会に新たな素案が示されました。

中学校の全員喫食の給食を実施することについては、重要な意義のあるものであり、府下的にも全国的にも大きな流れとなってきたことも事実です。

しかし、今回の市教委の素案の示し方や、進め方、検討の仕方において重大な問題があります。

第1に、現場の教職員への事前の説明や意見の反映、具体的な現場課題への事前の検討を経ずに示されている点は重大な問題です。今後の進め方においても、現場の教職員を加えた検討の場や、現場へのアンケート、意見反映の仕組みがしめされておらず、このままでは重大な混乱や大きな負担が現場に引き起こされかねません。

第2に、とりわけ、中学校現場の多忙、教員不足、クラブ・委員会活動をはじめとした課題の多さの中で、働き方改革の点から十分な検討がされていないうえに、この中での全員喫食性の実施は、アレルギー対応などで生徒の命にかかわる重大な責任の点から、取り返しのつかない事態が起こることさえ懸念されます。

第3に、学校、教室の施設、設備の条件への十分な検討が行われているとは思えない点です。40人学級で、生徒の体格の大きさ、荷物の多い中学校ではもともと教室が手狭であるうえに、PC、プロジェクター、スピーカー、オンライン授業のカメラ用タブレットスタンド、これらすべての配線など、配膳スペースの確保が極めて困難です。学校によっては廊下、階段が狭く、食缶を運ぶ生徒、手洗い、移動教室の生徒など錯綜、渋滞しかねない学校もあります。

第4に、昼の給食時間の確保の検討が不十分です。

昼休み時間が小学校に比べて短く、昼休みを延ばせば、放課後の生徒会活動、クラブ活動に影響が出るなど、現場へのしわ寄せになることは避けられません。

以上の点から、中学校給食の方針策定に向けて、以下の点について申し入れます。

記

1. 現場の教職員への事前の十分な説明を行い、現場の教職員を加えた検討の場を設けるとともに、現場の教職員の疑問や意見の反映を行い、慎重な検討を行うこと。
2. 学校の業務負担軽減による働き方改革の推進、多忙化の解消を行い、十分な体制やゆとりを保障する中で給食が実施できるように、市教委全体での施策の調整の場を設定して進めること。
3. 余裕のある給食時間、昼休み時間の確保のために、市教委としても学校の業務の見直し、業務削減などを市教委全体として検討、調整に取り組むこと。
4. ゆとりや万全の態勢で現場が取り組めるように、少人数学級、ダブルカウントを市独自に拡充すること。
5. 中学校への栄養教諭、栄養職員を各校に配置できるようにすること。
6. 配膳、運搬の負担軽減のために、配膳員の十分な配置、余裕を持った配膳室の整備、配膳台などによる配膳・運搬の負担軽減に取り組むとともに、運搬方法、導線の整備、十分な広さを確保した廊下、階段の確保など必要な設備、機器の整備を行うこと。
7. 給食費の無償化や負担軽減に取り組むとともに、公会計化を含めた、給食費事務の負担軽減を行うこと。

以上